

## 第7回新居浜市総合文化施設建設委員会(全体会) 会議録

1. 日時	平成 26 年 10 月 27 日 (月) 14 : 00 ~ 15 : 30
2. 場所	市役所車庫棟 2 階 教養室
3. 出席者	<p>委員 松久勝利 (委員長)、山本光博 (副委員長)、坂上公三 (副委員長)  石川猛、伊藤公一、宇野貴美恵、加藤哲、篠原雅士、武田信之  直野由美子、福本美喜和、藤田優</p> <p>総合文化施設準備室 参与 山野英嗣  総合文化施設準備室 室長 赤尾恭平  主幹 菅春二  副室長 曾我部みさ  係長 土岐幸司</p> <p>開館準備支援業務 受託者 堀孝  忽那あゆみ</p>
4. 欠席者	安孫子尚正、伊藤嘉秀、合田定子、田邊憲司、好井和樹
事務局	<p>開会挨拶</p> <p>●事務局代表／山野参与よりご挨拶</p>
山野参与	<p>この1月から着任いたしました山野でございます。今回の会は台風の影響で今日ということになりましたけれども、皆様もご都合をつけていただき、ご参加ありがとうございます。私共の準備室も来年の開館に向けまして、様々な事業を企画準備しておりますので、そういう一端をご報告申し上げたいと思います。今日ご出席いただいておりますけれども、幸い指定管理候補者のほうも決まりまして、それについてもご報告させていただきます。皆様方には忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。</p>
事務局	<p>それではこれからの進行は松久委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>●本日の議題とスケジュール</p> <p>議題 1. 指定管理者の選定結果について  議題 2. 現在の取組状況と今後の進め方について (報告)  議題 3. 施設の愛称について  議題 4. その他</p>



<p>指定管理候補者</p>	<p>様にお集まりいただいて、「このような内容で調整・審査をしてはどうでしょうか」ということで皆様にご協議いただいたのが7月10日でございます。それを受けまして、7月14日に、指定管理者の募集ということで、新居浜市が指定管理者を募集する旨を告示いたしました。その後、公募の説明会や現地の説明会を開催して、指定管理に意欲を持たれる業者の方から質問を受けたり、それに対する回答を返しながら、8月18日から8月25日の間、申請書の受付期間を設けておりました。その結果8月25日に2社の共同企業体からの応募を受けまして、9月11日に第2回の選定審査委員会、10月7日に第3回の選定委員会を行ったんですけれども、こちらには2社とも応募者の方に来ていただいて、想定する事業内容等についてご説明を受けながら、委員の皆様の質疑応答にお答えいただきました。その後、その日のうちに委員の皆様へ審査をいただきまして、その結果、「新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設運営グループ」という共同企業体を、指定管理者の候補者として決定したという流れでございます。この運営グループに選定した理由というのは、皆様お手元の紙にも書いてありますけれども、構成団体の企業としての強み、地元での実績力をもとに、魅力あるご提案をいただきました。今後は提案いただいた計画案をもとに、検討いただいて、より効果的な計画の実施に取り組んでいただきたいと思います。特に太鼓台ミュージアムの展示につきましては、地元の特性を生かした展示方法を考えていただきたいという選定委員からのご要望もございました。さらに市民への情報公開も積極的に行うことで、常に評価を受けながら、地元で根差した形で、施設を市民とともに育てていただきたいと思いますというお話もございました。こちらの結果については、市のホームページにも掲載しておりまして、採点結果としては150点満点中の109.125点という得点を得られて、候補者に選定された次第でございます。本日は後ろの方に候補者の業者の方が来られておりますので、ご挨拶をお願いしたいと思います。</p> <p>皆さんこんにちは。私は共同事業体のハートネットワークの伊藤でございます。よろしく願いいたします。それからもう一社、トータルメディアさんです。それからもう一社、アビリティセンターさんは事情がありまして同席出来ておりませんが、この3社で共同事業体ということで、進めさせていただければと思っております。配布いただいた資料に選定理由をお書きいただいているのですが、私共としてはこの三社の強み、ハートネットワークは25年間新居浜市で地域に密着した放送を中心に活動しております。その辺りの放送・通信・広報を地域に密着した形で運営していきたいと思っております。トータルメディアさんに関しましては、施設の展示を担当していただいておりますし、全国の施設においても指定管理の実績がございますの</p>
----------------	---

	<p>で、その辺りの強みを発揮していただくと、もう1社のアビリティセンターさんにつきましては、ご存じのように人材派遣を中心に活動されている会社でございますので、施設に携わる人材育成等に携わっていただければと思っております。それに加えて、地域力ということで、事業については新居浜市の市民の皆さんと力を合わせて、この施設を盛り上げていきたいと思っております。その他にも色々な企画を考えて、何とかこの施設を新居浜だけと言わず、日本中で注目される施設にしていきたいと思っております。これから準備に入っていきますけれども、色々なご意見とかご協力をいただければと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。</p>
松久委員長	<p>どうもありがとうございました。指定管理者の選定にかかる経過と指定管理者の選定委員会での結果と最終的な選定理由ということでご説明をいただきまして、指定管理候補者となります「新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設運営グループ」の方々からご挨拶と抱負について語っていただきました。</p>
事務局	<p>補足をさせていただきますと、正式には指定管理者として特定をされたということで、正式な手続きでいきますと、もちろん議会の承認が必要でございます。今後の予定としては、12月議会で指定管理者の特定ということで上程する予定でございます。条例が出来上がって初めて交付されるということになりますので、現実の指定管理の契約についてはこれからまだ先になるということです。ただ私共の施設と一緒に作っていただくという意味で、今後委託という形をとりながら、オープンまで準備を進めてまいりたいと思っております。</p>
松久委員長	<p>正式には12月の議会で承認を経てからでないとは公式な選定にはならないということでございます。ただ実質的には準備室の様子を見ていますと、お忙しそうにされておりますので、少し前倒しになりますけれども、指定管理者の方もご協力をお願いできればと思います。委員の皆様からこの件について、ご質問はございませんか？</p>
直野委員	<p>確か新聞かホームページで見たんですけれども、選定されたグループが4月からのスタートですよね。それで実質開館は8月ということで・・・。</p>
事務局	<p>それは議題2でご説明を申し上げようと思ったのですが、後ほどで構いませんか。</p>
委員長	<p>それでは後ほどお願いいたします。議題2では多岐にわたるご報告があるかと思っております。それでは1番目の議題についてはここまでということにさせていただきます。続いては2番目の現在の取組状況と今後の進め方についてということで、ご報告をお願いしたいと思います。</p>

■議題 2  
事務局

●議題 2

指定管理先が先日決まったということで、申し上げにくいんですけども、建設現場のほうは昨今の人手不足ということで、随分遅れております。まだ正式に議会に手続きを取ったわけではございませんけれども、なかなか年度末に出来上がるという見込みが厳しい状況になってまいりました。私共とすると5月の連休を目処にオープンしたいということで、そういう意味で施設が出来上がって、4月1日に指定管理者に施設をお任せしたいということで予定をしておりました。その予定が少し後ろにずれ込んでおまして、今現場のほうもいつ出来るのかということで、調整をしている最中です。そういった中で、一つの目処で夏休みまでにオープンするというので、オープン時期については7月の中旬から後半ということで、子どもたちが夏休みの間にオープニングイベントを展開していこうということで考えております。そういった状況の中で、アドバイザー等にもオープニング事業をお願いして計画を進めていたのですが、一度ご破算になりました。

そういった中で、指定管理者さんと7月の中旬から下旬のオープンに向けて、どういう事業をやっていくのかということで、取り組みを始めたところでございます。

今までご紹介をさせていただきました鴻上尚史さん、高見知佳さん、曾我部清典さんにご協力いただくことをコアにしながら、そういった方々を軸に、市民の皆さんの活動をミックスしながらオープニングを迎えるというのが、我々に与えられた課題だと思っております。その中で、今からプレーヤーとして活躍されている方々にご協議をしながら、市の公金を投入しながらオープニングを祝うという意味でどういう活躍をしていただけるかということについて、私共と指定管理者さんとお話を進めていって、早い時期に大きな事業のプログラム等についてご報告が出来るようにしたいなと考えているところでございます。

また美術館についても、一定の乾燥期間が必要ということもございまして、本格的な美術展については秋からスタートさせるということで計画を進めております。もう一点美術館について申し上げますと、寺坂公雄記念室についてということで、市民の皆様方をはじめ、議会の皆様方からもご意見をうかがっております。収集評価委員会においても時期尚早だという結論を迎えておまして、それに伴って市としても、前市長の段階で寺坂さんと覚書を交わしているということもあって、どうやっていくのかということですけども、開館当初に寺坂記念室を設けるのはなかなか難しいのではないかとということで、市としても寺坂さんの活動を市民の皆様にお伝えして、時期が整えば、その段階で行えばいいのではないかとということで、寺坂さんと協議

	<p>を進めているところでございます。</p> <p>もう一点太鼓台ミュージアムにつきましては、太鼓祭り推進委員会の中で、2か月おきに輪番制で展示紹介していくということは、皆様のご同意をいただきました。オープニングについては地元近辺ということで、松木坂井、金栄、庄内の各地区の太鼓の中で順番を決めていただいて、輪番制でまわしていくということで、概ねの合意をいただきました。今から実務的にどこを一番にという順番を決める段階にきているという所です。ひとまず現状のご報告ということで、何卒よろしくお願ひいたします。</p> <p>それから先ほどの質問に対するお答えですが、指定管理の時期としては、安全をみて7月1日から実施しようということで考えております。事業の組み立てについて、美術館以外は指定管理者さんを通してということでございますので、実際のプログラムについても指定管理者さんに入っただいて、事務事業委託ということで7月まではパートナーシップをもって活動していきたいと考えております。議会ではご承認いただいておりますが、選定委員会では決定したということで、ご協力をいただきながら進めてまいりたいと思います。</p>
<p>松久委員長 石川委員 事務局</p>	<p>いまの事務局からのご報告に対して、質問等ございませんでしょうか。</p> <p>ピアノの件は解決しましたでしょうか。</p> <p>ピアノについてはいろんな方とお話をしているところでございます。12月で予算を上程しないといけませんので、想定はしておりますけれど、機種を選定についてはまだ行っておりません。市内で活動をされている団体が各種いらっしゃいますので、そういった方々とお話をしながら最終的に決めていきたいと思っております。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>少し要望なんですけど、太鼓台の展示について、輪番にしていくというのは良いことだと思うのですが、2か月ごとというのも非常に短期間でありまして、お祭りの期間に太鼓がないということも寂しいということで、今後検討するにあたって、市のほうで常設いただいて、皆さんに触っていただいたり、太鼓を叩いていただくほうが良いのではないかと思いますので、そういったこともお考えいただければと思います。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>太鼓台を当面は借りるという形であるけれども、将来的には購入ということで常設の太鼓台を検討してはどうかというご要望ですね。それについては坂上副委員長のほうから、ご意見をお願いできますでしょうか。</p>
<p>坂上副委員長</p>	<p>この件については、太鼓台の委員会においても同じような意見が出たんです。お金のこともあるので、将来的には検討するとしても、まずは順番で紹介するというところで話を進めておりますが、将来的に購入するのか、郷土美術館にも太鼓台がありますし、各方面からも案としては出てきております。</p>

<p>事務局</p>	<p>その点については、委員会のほうでも検討するというので考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>もともとこの建設委員会においても、郷土美術館にある太鼓台を利用する、それから市で新たな太鼓台を購入する、現存する運営している太鼓台を輪番制で回そうという、3点についてこの委員会でもご議論いただいたと思います。輪番制で行きますと、観光客の方が実際に太鼓台に触っていただくというのはなかなか難しいと、反対に一つの固定した太鼓台を用いた場合、郷土美術館の太鼓台を見ていると将来的に市民の皆さんの興味が薄れていくということも一つあって、まずは輪番制でスタートさせようということで準備を進めております。そういった中で、指定管理のプロポーザルにおいても、委員の方から、実際に動いているものではなく個人で持たれている太鼓台がある点などお話があり、そういったものをレンタルしながら、運営していくのも一手ではないかのご指摘も受けております。方針を決めると永年そのまま続けていくという訳でもございませんし、市民・観光客のニーズも変わってくると思われまますので、それについては対応できるような事業運営を今後も考えていきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>ありがとうございます。今の件について、他に何かございますでしょうか。それではもし何かございましたら、最後にもう一度議題1、2両方を含めてご質問等をお尋ねできればと思いますので、その際にご発言いただければと思います。ひとまず2番目の報告については、いったんこれで閉じさせていただきます。3番目でございます。</p> <p>施設の愛称についてということで、これについては手元の資料にございますけれども、既に市内の小中高と学校関係に愛称募集を行っているものがございますが、改めまして事務局のほうからご説明をいただければと思います。</p>
<p>■議題3 事務局</p>	<p>●議題3</p> <p>愛称募集については色々な考え方があります。案としては、指定管理者さんが決まった段階で、ホームページ上で施設の様子なども見ていただきながら全国公募するというのも一つございました、そういう中で、我々も市長のほうから日本に向けて発信ということで頑張っていくんだということだけれども、名前ぐらいは新居浜の子どもたちに決めさせてやって欲しいというご意見がございまして、夏休みの宿題ということで小中学校には愛称募集の案内を行いました。高校・高専については、新居浜市教育委員会が直接関わっていないものですから、各学校長にお願いを申し上げに行き、それぞれ市内の学校教育機関から集まった応募作をもとに、どうやって決めようかと</p>

<p>事務局</p>	<p>いう状況です。</p> <p>愛称募集については、過去に建設委員会の中でご協議もいただいて、決めるべきとのご意見もいただいていたけれど、市長の考えもありまして、その後事務的に動いたということです。手順として、新居浜の子どもたちに決めてもらいたいという枠組みを市として決めてしまい、少し独断で進めた部分を皆様にお詫びしないといけないという状況です。そういった中で、引き続き、具体的な状況を事務局のほうからお伝えできればと思います。</p> <p>施設の愛称募集についてということで、応募状況についてご説明をさせていただきます。7月上旬に市内の小中高校に募集の案内をいたしました。その後、9月下旬に募集を締め切りました。応募総数は4,631通です。小学校が16校で2,393通、中学校が10校で2,110通、高校については2校から146通の応募がございました。資料の2-2に小中高一覧表ということでまとめておりますけれど、各学校から10点程度票の多かったものを選んでいるほか、色々と優秀と思われるものを各学校ごとに選んでいただいたものを掲載しております。各学校の1~10までついているものが、票が多かったものです。優秀10選と書いているものは、票というよりも、各学校で決め方は色々なのですが、優秀と思われるものを選んでおります。</p> <p>また委員の皆様には、別添の資料で98ページにわたって、応募のあった愛称すべてを掲載している一覧表をお配りしています。この資料についても少し補足いたしますと、1ページ目、審査用ナンバーほか、同じ名称が3つ並んでおりますけれど、これは違う学校から3通〇〇〇という名称が応募されたということです。中ほどの19番20番に△△△という名称がございました。20番については、右側に学校内とりまとめ総数ということで「2」とございますけれども、これは同じ学校から2名、△△△に応募があったということです。今回は4,631通の愛称の中から決定をする訳ですが、その選定方法についてご協議をいただいて、選び方を皆様に決めていただければと思っております。</p> <p>事務局からの案といたしましては、応募総数が相当な数ございますので、この中から良いと思うものを3点お選びいただきまして、その3点について1~3位ということで順番をつけていただいて、それぞれの1位については5ポイント、2位については3ポイント、3位については1ポイントということで点数をつけて集計をいたしまして、次回の建設委員会でその集計結果をもとに最終選定の協議を行い、最終決定するという方法を考えております。</p> <p>松久委員長</p> <p>まず選定方法については、その前の段階で募集の手続きと配布されている資料のご説明がありましたけれど、そこまでの段階でご質問がございました</p>
------------	--

	<p>ら先に議論いただいて、選定方法についてはその後、皆様に諮りたいと思います。</p> <p>いまご説明がありましたように、本来の手続きであれば、この建設委員会で募集要項等を検討して、公募するのが本来の手順かなと思いますが、市長のたっのご要望ということがあったようでして、子どもたちに決めてもらうというのも一つの考え方ではないかということで、未来を担う子供たちの心を育むというのが大きなコンセプトとしてございます。そういうこともふまえて建設委員会としては了承してもよいかということで、皆様よろしいでしょうか。そこのところをご了承いただけるようでしたら、次の手順に進みたいと思います。</p> <p>一連の経緯としては、夏休みに各学校の子どもさんに夏休みの宿題として応募いただいたものが4,631点あるということでございます。そして資料としては2種類ございまして、応募のあった4,631点すべての候補が載っているリストが一つ、そして各学校である程度絞り込んでくれたという資料がもう一つございます。この2種類ございますが、今はこの資料の取り扱いについて、ご質問はございませんでしょうか。</p> <p>ちなみに私自身感じたこととしては、小中高で選んでくれたものというのは、とりあえず選んでくれただけということで、建設委員会としてはそれに拘束されるものではないという風に受け止めたんですが、そのように理解してよろしいでしょうか。</p> <p>先ほども申し上げましたが、各学校が10点選んだ基準はバラバラですので、一例だと人数の少ない学校は子どもに人気投票させた中で出てきたものもございまして、先生の段階で選んだというものもございまして、数が多かったものを一位から順番に並べたというものもございまして、各学校で一斉に合意がなされて出てきたものではございません。ただ各学校が代表として10点選んでいただいたという事実はございますので、その点について私共も資料としてご提示しないといけないだろうということで、こういう表にまとめさせていただきました。高校・高専については、学校単位ということではございませんでしたので、個々の意見として出てきたということで、特に順位付けしたものではないという中で、一定こういう結果があるということです。そうした中で、良いものをお選びいただきたいというのが我々の気持ちです。</p> <p>施設のコンセプトがこうであるとか、土台になる判断基準になる材料をきっちり示して、より親しみの湧く名称を選ぶべきであると思います。</p> <p>こちらで募集チラシを作りまして、そういう中で愛称を考えてもらいたいということで案内をいたしました。</p>
事務局	
山本副委員長	
事務局	

<p>山本副委員長 事務局</p>	<p>今のお話では、選び方は各学校によってかなりバラバラですね。 基本的に各学校さんとも人数が多いものを上にという感覚はあったようです。ただそうすると学校単位で学生数が多い所と少ない所があるということで、数だけではないだろうという風にも我々としては思っております。そういう意味では、まとめている10点というのは、あまり気にせず選んでいただいたほうが良いのかなとも思います。ただ学校としてはまとめて出しているというので、事務局として思い悩む部分もあったのですけれども。</p>
<p>伊藤委員 事務局</p>	<p>これは3つ選ぶというのは、こちらの一覧リストから選ぶということですね。 そうですね。例えば、高校の場合とりまとめをせずに、個人として出てきておりますので、とにかく一覧という形を取っております。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>今のお話でいくと、募集の段階で文化施設についての趣旨説明はあったにしても、どこまで子どもさんに伝わったかという部分での問題もございません。小中学校で一定の時間を割いて先生方が取組んで下さったということも事実としてございますので、この委員会としては、こういう風にしようということではなくて、委員一人一人が、そういった状況を頭に置きながら、自分の感覚で出たものをすべての枠の中から選ぶということにならざるを得ないのかなと思いますけれども。</p>
<p>石川委員</p>	<p>募集をかけた時の書類が回っておりますので、一応お目通しいただければと思います。その上で、取扱いについて議論を進めたいと思います。 チラシを見ると確かに文化施設のことはわかるのですが、具体的にポイントがどこにあるのかということは、掴みづらいですね。例えば、「銅」なのか「あかがね」なのかというだけで、印象が違いますけれども、そういったニュアンスまでが子供に伝わっているのかなと思いますね。 個人的には新居浜ということで発信していくのであれば、「あかがね」しかないと思います。銅ということでしたら、足尾もありますし、このテーマで行こうという積極的なものとかは無いんでしょうか。建物自体も出来上がりの写真を見せてもらいましたけれども、どんな感じだろうかと思うところもあります。</p>
<p>事務局</p>	<p>元々は「あかがねミュージアム構想」ということでスタートしている事実がございます。そうはいいながら、新居浜は銅だけではなくて、多喜浜塩田などもあるという中で、そういう活動をされている方の中からは、新居浜は銅だけではないだろうというご意見もございます。そういう意味で、「あかがねミュージアム構想」ということで、名前を出すということを我々控えてきたということもございます。また事務局としてどうしようということとは、</p>

<p>石川委員</p>	<p>なかなか言いにくいという部分もあります。</p> <p>僕はこういう話題をある人たちと話した中で、こうした多目的というのは無目的だということを言われたんですね。こういう虹色的な、いかにも受けのいい方向で果たして何年持つかと言われたことがあってね、そういう中でイメージを一本出していくというのはとても大事なことだと思います。そしてそれは、「あかがね」になるというのとはまた違うのかもしれませんが、内容的には厳しい指摘だと思います。</p> <p>いつも話をする時に、「一本これで行こう」というものがない、というのは、今後の運営においてもとても重要な問題であると思います。あれもこれもでは、なかなかうまくいかないと思います。唯一性というものを、我々は考えなければいけないのではないのでしょうか。名前を付けるにしても、そうした柱があれば、これでいこうと決めれると思います。新居浜はとにかく「これなんだ」というシンプルですっきりとしたテーマがいつも感じられないという気がします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ただいまのご意見は、事務局としても感じているところなのですが、今回指定管理制度で運営を行うというのは、行政と市民という構図の中で、一緒にやって行くんだということで進めていきたいということで、こういう仕組みを作らせていただいております。そういう中で、名前のほうも、我々のほうでリードをしながらというのは、非常に難しい所があります。ただ建物のプロポーザルの段階でも、銅を使った外観が選ばれたという所にも、市民の意図が反映されているのかなと、事務局としては思っております。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>多目的は無目的だという批判はよく受けるんですけども、そうでない場合もあるかもしれない訳で、そこをいま議論しても、決まった事項を蒸し返すことになりますので、それはプロポーザルに入る前の段階で、随分と話しあった事柄ですね。それは今後、指定管理者さんにも、そうした意見を念頭に置いていただいて、運営にあたっていただければと思います。無目的にしない運営というものが求められているということで、もちろん、口で言うのと実際に行うことのギャップは難しいですが、そこはぜひ乗り越えていただきたいです。むしろ運営に関わる方の力量の問題というものもあるかも知れません。厳しいご指摘ですけども、これはどこまでもついて回る問題だと思いますので、今後も市民の皆様から忌憚のないご意見をいただきながら、運営を進めていただければと思います。</p> <p>今は愛称の話題に戻りたいと思いますが、夏休みの宿題として子どもたちが応募してくれたということで、その気持ちを無視することができないと思いますので、委員の皆様には大変ですけども、一通りお目通しいただきながら選んでいただくということになるのかなと思いますが、いかがでしょう</p>

<p>宇野委員</p>	<p>か。</p> <p>まだ一部しか拝見していないのですが、内容として愛称として親しみが持てるものと、施設全体の名称を表したものなど色々ありますが、そうした複数の名称を組み合わせることはいけませんか？</p>
<p>坂上副委員長 宇野委員</p>	<p>子どもさんからこれだけ出ているのですから、難しい所ですね。</p>
<p>宇野委員</p>	<p>愛称としてじっくりくるものと、施設の名称としてじっくりくるもの両方があってもいいかと思ったもので、そうした意見を出させていただきました。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>こうした公募の審査をする立場としては、より良いものという意識が働きますので、難しいですが、この委員会でオリジナルの名称を編集するというのはいかがなものかとも思います。</p>
<p>直野委員</p>	<p>将来新居浜を担っていく子どもたちが大きくなって、社会人になった時に、戻ってきてここの施設を使ってもらいたいということも含めて、自分たちが関わった施設であるということ意識してもらいたい意味でも、子どもたちが一生懸命考えた名称から選ぶのは良いと思います。子供でも親しみやすい名称というのを選んだらどうかと感じました。</p>
<p>篠原委員</p>	<p>子どもたちから募集したということですが、子どもたちと私たちは生きた時代も感じ方も随分違いますので、将来を担う子供たちがどういう思いで名称を考えているかということもふまえて、僕たちは選ばないといけないと思います。銅山にしてもそうなんですが、中学校の時には誇り高き別子銅山という印象がありますけれども、今の子どもたちはどうなんだろう。過去にそういうことがあったという事実は間違いないですけれども、それだけ別子銅山に対する誇りがあるのかどうかといった所まで考えて、我々は選ばなくてはいけないと思います。未来を担う子供たちを中心に、選択していかなくてはいけないでしょう。</p>
<p>山本副委員長</p>	<p>別子銅山、多喜浜塩田といろいろある訳ですが、その二つとも、どちらにも当てはまるような名称というのは、特徴が出ないという意味において大変難しいと思うのですが、外観からしても、「あかがね」「銅」のイメージを持って建物が作られている訳ですよね。建物のイメージからすると、「あかがね」だろうと思うんですけど、子どもたちの話も出ましたが、あそこが「あかがね〇〇よ」ということで、別子銅山のことも含めて伝えていくこともできる訳ですよね。市外の人が見た時に、新居浜の歴史を踏まえたものでない名称にした時に、どこにでもある名前になってしまうと。ホールの名前から新居浜をイメージできるような名称のほうが、私は良いのではないかと思います。私は「銅」と言うより、「あかがね」と言ったほうが、インパクトがあるのではと思います。それは建物にしても、PRの土台にし</p>

<p>松久委員長</p>	<p>でも、個性的な名前のほうが良いんじゃないかという気がします。</p> <p>子どもたちの感性にプラスして、歴史を知っていただく、伝えていくという役割も果たしているということですね。現在のこの場は意見交換ですので、方針を決めるという性質の事柄ではないと思います。こういう方針で投票しましょうというものでもないと思いますので、意見交換を各自が念頭におきながら、委員の皆さんご自身で判断して投票するというのが適切ではないかと私は思いますがいかがでしょうか。そういうことで、意見交換は大切ですよ。どういうご意見を持っておられるかということは、今お聞きしましたので。基本的にはいろいろご意見ございましたけれども、一覧表の中から3点選んでいただくということですね。これの手続きについて、決めなければいけませんので、もう一度事務局のほうからご説明をお願いできればと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員の皆様にはそれぞれ、一番いいものから1位、2位、3位ということで3点選んでいただきます。それぞれ1位については5ポイント、2位については3ポイント、3位については1ポイントということで、それを集計して次回の建設委員会において、結果をもとに最終的に愛称を選んでいただく協議をお願いできればという方法で考えております。お配りしております選定用紙にお書きいただきまして、郵送でご返送いただければと思います。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>お手元に選定用紙がございますので、それを返信封筒に入れていただいて、期日までに投票いただくということが手続きとなります。</p>
<p>伊藤委員 事務局</p>	<p>審査用 No.というのは、何を書いたら良いのですか。</p> <p>集計表一番左側の数字をお書きいただければと思います。重複する名称については、何番から何番ということでお書きください。</p>
<p>松久委員長 事務局</p>	<p>今のような手続きでよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>子どもさんの応募用紙には、その愛称を考えた理由も書かれておりますので、その辺りの背景については事務局にお尋ねいただきましたら、お答えできる範囲でお答えさせていただければと思います。選定用紙については、11月12日までにご返送いただけると幸いです。メールでも結構です。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>ということで、事務局からご提案いただいたような方法で、12日必着ということで、大変お手数ですが、よろしく願いいたします。以上で3番目の議題については決定ということで、させていただければと思います。</p> <p>続いて、議題4その他ということですがけれども、何かございますでしょうか。</p>
<p>■議題4 事務局</p>	<p>●議題4 皆様にお配りしております資料の中に、11月22日開催の開館プレイベ</p>

松久委員長	<p>ト「高見信行トランペットの調べ」のご招待券を同封しております。これは総合文化施設プレイベントの最後となるもので、地域創造という総務省の外郭団体の助成を一部受けまして、実施させていただくコンサートです。</p> <p>3連休の初日ですけれども、ぜひぜひ足をお運びいただければと思いますので、皆様ぜひお越しください。よろしく願いいたします。</p> <p>それではこれにて閉会ということにさせていただきたいと思います。ご協力どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">終 了</p>
-------	--